



NIE土曜サロン

第28回 東京・銀座の読売新聞東京本社9階会議室で

震災記事 授業にどう生かす

新聞活用教育に関する理解を深める第28回NIE土曜サロンが4月23日、読売新聞東京本社（東京・銀座）で開かれ、6都県から小中高校の教諭ら27人が集い、連日報道される東日本大震災（3月11日発生）の記事を授業で今後どう扱うかについて活発に意見交換した＝写真。

震災をテーマにした授業案をグループごとに話し合った後、具体的なやり方として、「記事、写真、マンガ、川柳、テレビ、ネット情報などいろいろ考察して、生徒と先生がお互い自分で何ができるかを発表する」「風評被害はどうして起こるのかを新聞記事から確かめていく」「人の心の温かさ、命の大切さをNIEでやりたい」などのアイデアが各グループから紹介された。

「震災報道はあまりにショッキングで、使う記事選びに悩む」「当校には福島県から避難してきた生徒がいて配慮が必要。震災記事は生々しすぎて、今は使いたくても使えない」など慎重な意見も出て、新聞記事を授業で取り扱う際には配慮が必要だ、という認識が確認された。

読売新聞の東京、大阪、西部本社から総勢100人以上の記者が、岩手、宮城、福島県の被災地へ応援取材に駆けつけた動きや、取材先の公民館で被災し43時間後に救出された記者の記事が披露されたほか、茨城県日立市と千葉県香取市の教諭からは「地震直後に避難した校庭はひび割れていた」「給食はお総菜なしになった」などと厳しい被災状況が報告された。

NIE土曜サロンは2008年1月以来、原則的に「毎月第4土曜日の午後2時～4時」に開催。事前申し込みが必要。

